

◆ 立川都税事務所長賞 ◆

「充実した生活をつくる」

小平市立小平第五中学校 3年 名古屋 小絵

私は最近本を読むことが好きになり、今年の夏は毎日のように図書館に通っていました。図書館にはさまざまな種類の本が揃っていて、まだ読めていない本がたくさんあることを考えると心が弾みます。自習スペースでは読書はもちろん、勉強もできるため、図書館は私にとって心が休まる快適な空間です。

そんな中で、ふと疑問に思ったことがあります。それは、「なぜ図書館は運営できているのか」ということです。図書館には本や冷房、照明など、多くの費用がかかります。しかし、本を借りるときに支払いはしていません。そのお金は誰が支払っているのか、という疑問から、運営費について調べてみることにしました。

調べると、図書館の運営費には税金が大きく関わっていることが分かりました。つまり、私たちが普段納めている税金が図書館を支えているのです。私は今まで、税金の使い道など考えていませんでした。ちょっとした買い物にもつく税になんなんだろうと疑問を抱きながらも、特に意識を向けてはきませんでした。しかし、今回調べたことで、いま私が図書館に通って多くの本と出会えてこられているのは、税のおかげであるということを知ることができました。税の重要さを実感しました。

また、私たちが成長していく過程でも、税金によって多くの支援を受けてきました。例えば、病院や歯科医院での治療費、学校の設備や授業で使う教材などは税金により支えられています。さらに、公園や児童館もつくられてきました。このことを知り、私は今までの生活を振り返ってみました。放課後や休みの日に友達と児童館のおもちゃで遊んだこと、体育の授業で色々なスポーツを体験したこと。どれも充実した思い出であり、税金があったからできたことだと思います。

私たちは今まで、たくさんを経験できる機会とともに成長してきました。生活のなかで何気なく納めていた税金は、私たちの暮らしをより豊かにするために使われていたのです。税金を払いたくないと思う人もいるかもしれません。使い道がわからず必要性を感じなかったり、税金が負担だという人の声も聞いたことがあります。しかし、私たちが納めた税は、「より安心できる、充実した暮らし」という形で自分たちに返ってくると思います。

いまの私は、図書館があるからたくさん本と出会え、教材があるおかげで勉強に取り組んでいます。私たちの生活は、今までも、そしてこれからも、税によって支えられていくのだと思います。